

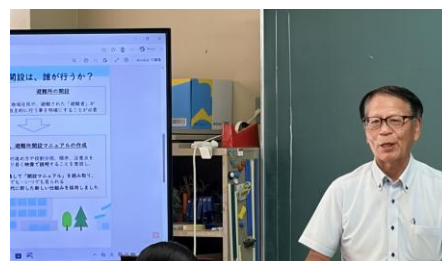
黒浜西中学校「西中防災キャンプ」実施報告

令和8年7月25日（土）、蓮田市立黒浜西中学校において、PTAと学校の共催による第11回「西中防災キャンプ」が開催されました。今年で11回目を迎える本取り組みは、中学生に「防災に対する意識と知識を育てる」をめあてに、毎年続けられています。中学生が自ら考えて行動することが出来、いざという時に手を取り合える『心強い地域の仲間』に成長出来るように、独自の体験型防災教育に取り組んでいます。

■ 今年のテーマ：「正しい情報の判断と伝達」

今年のメインテーマは『情報』です。「正しい情報をどう判断して、どう伝えるか？」をテーマに、岩槻警察署の協力を得て実践的なプログラムが展開されました。また、協賛企業の協力を得て防災食についても学びを深めました。さらに、来年に向けて避難所開設についての知識も得ることが出来ました。

- **講義「情報サバイバル」：** 災害時のデマ拡散を防ぐ情報管理と正しい情報の見極め方を学習。
- **食の衛生体験：** 断水・停電時を想定し、手袋や袋を活用した衛生的な非常食の开封・準備法を検証。
- **避難所開設 DVD 視聴：** 避難所における中学生の役割と運営手順を学び、アンケートを実施。



■ 「教えるサイクル」が育む共助の心

いざという時に「自分たちが地域を守る」という頼もしい当事者意識（シビックプライド）が着実に育まれてほしい、との願いを込めて実施しています。しかし同時に、子ども達は将来、世界に羽ばたき、ずっと蓮田にいるとは限られません。どのような状況になっても、自分自身や家族、そして地域の人々の命を守る行動が出来る人材に育ってくれることを願っています。私たち自治会としても、この頼もしい中学生たちと連携を深め、いざという時に協力し合える地域全体の「共助体制」をより強固に築いていきたいと考えています。